



### 高知県生涯学習指導者交流事業 NPO高知県生涯学習支援センター設立記念 シンポジウム 「地方における生涯学習はどうあるべきか」開催

#### 山本理事長の基調講演、熱く語る パネリストにも会場から大きな拍手の応援

NPO生涯学習支援センターの設立を記念して、高知市九反田の文化プラザからポートで5月28日(金)午後1時30分より、シンポジウム「地方における生涯学習はどうあるべきか」が開催されました。

基調講演をお願いしていた北川泉先生が急病で入院され、急遽、山本晋平理事長が代役をつとめることになりました。四日間、不眠不休の山本理事長は「睡眠不足に重ねて、準備不足じゃ」といながらも内容が充実している上に、その熱のこもった語り口で参加者を感動させました。

生涯学習の歴史から、その振興のための法律の制定を述べ、高知県政での生涯学習の取組みの遅れを正面から指摘。今後、行政に協力しながらNPOや関連ボランティアとのネットワークも生かし、質の高い生涯学習社会を高知県に創造したいと協働を訴えました。

山本理事長の基調講演を受けて、「高知の生涯学習はどうあるべきか」とのテーマでパネル討論に入りました。

パネリストは高知県教育委員会大崎博澄教育長、放送大学高知

学習センター長・渡邊輝道先生、人・みらい研究所・筒井典子所長、高知新聞社社会部・石川浩之氏の四氏で、コーディネータは当センター・永國淳哉センター長があたりました。

各自の個人的な「生涯学習」を披露しながら自己紹介をした後、それぞれの仕事の立場から生涯学習をどうとらえ、推進しているのかのべ、山本理事長の基調講演で出された方針にそった今後の取組みへの提案などをのべました。

「本物の教育とは何か」と大崎教育長の発言に熱がこもってくると、会場の参加者からも応援の拍手がわき、厳しい内容の討論でありながら、なごやかな雰囲気の中で約2時間のシンポジウムを終えました。また、シンポジウムの内容につきましては、ニュースレター誌上でまとめて報告する予定です。

なお北川泉先生(元島根大学学長)の講演は、年度内に実現させる予定です。

#### シンポジウム基調講演要旨

### 「地方における生涯学習とはなにか」

#### はじめに

21世紀の社会を成熟社会と想定すると、そこでの教育の中心が生涯学習であり、社会教育であるといえる。学校教育中心の現行の教育システムは終焉し、教育という行為の対象は社会全体(国民)のものになるはずである。諸外国の例を見るまでもなく、円熟期に入った国家は成人教育の充実が期待され、生きる力の養成には、国民の自己教育、学習が必須なことになる。

#### 1 生涯学習とは何か?

昭和40年のユネスコの成人教育に関する会議において、人生の諸段階、生活の諸領域におけるフォーマル、ノンフォーマル、インフォーマルな教育・学習のすべてを含む総合的・統一的な概念として初めて提案された。しかし、我が国において生涯学習社会の構築が改めて必要となってきた社会的背景としては、次のような点が指摘されている。

- (1) 社会・経済の変化に対応するための学習の必要性; 科学技術の高度化、情報化・国際化、産業構造の変化等、社会・経済の変化に伴い、人々が 絶えず新しい知識・技術を習得することが必要になっていくこと
- (2) 社会の成熟化に伴う学習需要の増大; 自由時間の増大、高齢化等、社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいのための学習需要が増大していること
- (3) 学歴社会の弊害の是正; いわゆる学歴社会の弊害を是正するため、形式的な学習によらずに、生涯の各時期の学習の成果が適切に評価される社会を目指すことが求められていること

#### 2 世界的にどう行われているのか?

生涯学習や生涯教育という概念は外国で誕生し、日本に輸入されたものであり、定着したかに見えるが、言葉だけで、体制はまだ外国のそれに及ぶものではない。

#### アメリカの生涯学習

生涯学習が最も進んでいるアメリカでの生涯学習の中心はコミュニティーカレッジである。コミュニティーカレッジとは、2年生の公立の短大で、目的が地域住民の活性化であるため納税者には無償で開演されている。大学には年齢を問わず多くの市民が通い、まさに「学びたい時に学びたいことを学ぶ」という理念が実施されている。卒業後は4年制の大学に通うことが可能である。また、アメリカでは通信教育による学習も盛んに行われており、大学数も日本の比にならない。大学院も設置されて、

#### NPO高知県生涯学習支援センター理事長 山本晋平

最近インターネットを利用しての遠隔授業も出来るようになっていく。

NPO高知県生涯学習支援センター設立記念シンポジウム



基調講演で熱弁をふるう山本晋平理事長

#### イギリスの生涯学習

イギリスには日本の放送大学の規範になった「Open University」があり、10万人を上回る学生が学んでいる。学生のほとんどが職をもつ社会人で、TVやラジオを通じて学習し、このほかにも、資格取得が目的の「継続教育」なる生涯学習も行われている。

#### スウェーデンの生涯学習

高い税金で知られるスウェーデンは福祉国家ゆえに生涯学習にも力を入れている。多くの国民は「25-4制度」という入学資格を利用して生涯学習をしている。この制度は、25歳以上で、4年以上主婦業を含めて何らかの職に就いている者に与えられる入学資格で、この制度がある為に、スウェーデンには受験戦争や偏差値競争がない。競い合って大学に入ることはなく、学びたい時に入学すればよいからである。

#### 3 日本そして高知ではどうなっている?

学習者の自由な意志に基づいて、それぞれにあった方法で生涯にわたって学習するための施策の推進体制等の整備に関する法律等(「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」(平成2年法律第71号)等)があり、都道府県の事業体制に関して必要な事項を定め、学習機会の総合的な提供を図り、生涯学習の振興に寄与することを目的としている。また、生涯学習に関わるICT(情報通信技術)に関しては、「新しい情報通信技術を活用した生涯学習の推進方策について」が平成12年11月に答申されている。

これらの法律、答申等に基づいてインターネットを利用した学習プログラムが国あるいは民間等から提供され、また、各都道府県単位でも種々の学習プログラムあるいは講座等が各都道府県の生涯学習センターで開講されている。高知県においてはインターネットで生涯学習機会を提供する「オンデマンド学習システム」が文部省からの委嘱事業で平成10年から平成13年の約2年半の期間、9,700万円で作られたが、現在工事中ということで停止している。これは早急に工事を完成させ、広く県民に公開しなければならない。

互いに協力して、質の高い生涯学習社会を高知県に創造したいものである。



## 6月の行事

### 老年学② 音楽と健康

好評の「音楽と健康」講座を、4月に引き続き前田キヨ子先生をお招きして実施します。老若男女を問わず、お友達を誘ってお集まりください。

日時:6月20日(日曜)午前11:00~12:00

場所:教育センター分館南棟 大講義室

参加料:1000円

前田キヨ子先生略歴

認定音楽療法士 川崎福祉大学非常勤講師 介護老人福祉施設「夢の星」非常勤講師  
桜美林大学大学院老年学専攻(在学中)

### 夏季オーストラリア生涯学習視察旅行事前研修

日時:6月4日(土曜)午前10:00より

場所:教育センター分館南棟2階KOLEC本部

### 歴史文化活動②

(高知市)浦戸散策「浦戸城下と町並み保存」

日時:6月19日(土曜)午後1:30~3:00まで(小雨決行)

集合:浦戸ふれあいセンター前 バス停

講師:溝渕博彦先生(高知市文化財審議委員)

参加料:無料

長宗我部元親の最後の居城「浦戸城」の城下のなごりを伝える町並みを、観海亭からスタートして、伝統建築の第一人者である溝渕先生の説明を聞きながら散策しましょう。

なお、同日午後5時より、浦戸城址保存会の皆さんとの懇親会(参加料5千円)が、旅館「浦戸一」であります。

参加希望者は865-6005(同会の堀内昭五郎事務局長)まで

### 「食文化講座」 近く開講

高知の文化等をさらに高めようと各種講座の準備が進んでいます。順次開講しますが、ご要望があればご提案ください。

- 1) 食文化、9月第3週にはインターネット上でのキンピール大学で有名な元早稲田大学教授・西江雅之先生(裸足の文化人類学者)による「食べ物は文化である」を講義する予定です。詳細は次号で。
- 2) 災害とその対策
- 3) 土佐近代史
- 4) その他

### 早期英語研究部会準備会

小学校での英語教育を本格化するために文部科学省・中央教育審議会で検討が始まりました。

早ければ来年4月から始まる早期英語教育のスムーズなスタートを切るために私どもNPOでは、近く研究部会を発足させます。興味のある方は、ご連絡ください。

### 進路相談会②

5月に引き続き夏休み明けに、“不登校・高校中退者”のための進路相談会を次の要領で開催します。

日時:9月15日(水曜)午前10:00より

場所:教育センター分館南棟2階中講義室

参加:無料

(内容)10:00~10:30

基調講演 「若者たちと向きあう中で」

講師 小草 栄喜先生

(高知県教育委員会 心のアドバイザー)

10:30~11:00

受け入れ参加校、参加団体よりのメッセージ

11:00~12:00

個別相談

(大検指導、留学相談、通信制単位制高校、高等専修学校、中途入学・編入可能な学校、フリースクール)

### シンポジウム「四国遍路と世界の巡礼」 11月1日、2日開催予定

フランスの巡礼研究家ジャン・シェリニ氏が、愛媛大学の内田九州男教授の案内で八十八ヶ所札所の一翼を担う高知にまで足をのぼすそうです。四国の巡礼をグローバルな視野から語り合う計画を進めています。近く準備会を発足させますので、興味のある方はご協力ください。

## しばてん文庫開設

郷土出版物、自費出版、自分史出版のお世話を致します。

高知県における出版文化の振興のために、次のような事業を展開する「しばてん文庫」をNPO生涯学習支援センター内に開設したいと、5月20日午前10時より関係出版社の代表の方たちと話し合いました。対象とする出版物は、完成した印刷本または電子本とし

(1)高知県在住または出身の著作(2)高知県に関する著作(3)高知県内で編集出版されたものとします。

### 事業の概要

#### 1)「著者を囲む会」の開催

アメリカの「A Book Talk」形式で実施(所要時間:約1時間半)

- ① 著者紹介(著者の知人友人などが行う)
- ② 著者が自ら本の内容、出版の背景など30分以上1時間以内で語る
- ③ 質疑応答
- ④ 懇談と著作物販売

#### (付記)

- ① 著者の申出により開催することを原則。
- ② 著作に関係する資料展示が望ましい。
- ③ 配布資料代金は実費で1000円以内とし、事前通知するものとする。
- ④ 著作物販売の20%を「しばてん文庫」の運営費として支払う。

#### 2)郷土出版物展示即売コーナー設置

「しばてん文庫(仮称)」の規定に当てはまる出版物5冊以内を預かり展示(仕入れは行わない)、販売できた場合、売上代金の20%を「しばてん文庫(仮称)」の運営費とする。中古本は取り扱わない。

#### 3)郷土出版物のデジタル化をはかり、インターネットで無料購読や研究での活用ができるようにする。

## 不登校・高校中退者のための進路相談会 報告書

日時 平成16年5月25日 午前10時～午後12時  
場所 教育センター分館 北棟2階 第4研修室

### ●基礎講演

「進路指導から学んだこと」……廣瀬 典民先生

### ●参加校・団体からのアピール

TCC高等学園、セルボン高等外語学校、土佐総合学院専門学校、ヒューマンビジネス専修学校、広島県尾道高等学校、清和女子中高等学校、フリースクール ウィン、フチ服飾デザインスクール、高知文化服装専門学校、学校へ行かない子を持つ親の会、高知県立北高等学校、高知留学センター、太平洋学園。

### ●大検相談

小草 栄喜先生

### ●個別相談

アニメーターや不登校生を抱える保護者の方が学校や団体に個人的に相談するコーナーがもたれました

### ●参加者人数

34名

## 第2回 生涯学習アニメーターの集い 月例会 報告書

日時 平成16年5月25日 午後2時～3時30分  
場所 教育センター分館 北棟2階 第4研修室

### ●提案

「学校へ行けない子供たちへの支援について」……松本 文彦先生

### ●参加者

土居留美子、瀬戸節子、濱口比奈子、島本茂男、松石節子、宮川佳重子、佐々木香代子、山波嘉律雄、杉本一喜、秋澤志名、永国淳哉、廣瀬典民、その他

今回の月例会では、心の教育センターの松本先生の提案について、積極的な質問が出され、今後の活動に役立つ貴重なお話を聞くことが出来ました。また、廣瀬典民先生の放浪癖のある男子生徒や、簿記の嫌いな男子生徒の体験談も今後の不登校・中退者にとって、励みになるお話でした。



### ●特定非営利活動法人



高知県生涯学習支援センター(KOLEC)  
高知市大原町132番地(教育センター分館内)  
電話 088-833-0022  
FAX 088-833-0023  
URL <http://www.kolec.jp>  
電子メール [info@kolec.jp](mailto:info@kolec.jp)